

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

学校法人 藤ノ花学園

学校法人藤ノ花学園 平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学理念・教育目標

藤ノ花学園の建学の精神である「誠をもって勤儉譲を行え」を基本に、学園の教育の基本である実践的教育の充実向上を図る。学生生徒へのきめ細かい働きかけを通して学力や職業的能力の向上とともに人間的な成長を促す。

大学・短期大学においては建学の精神を現代に活かし、次世代社会の担い手となる創造性豊かな人材を育成することを通して地域社会に貢献し、地域密着型の大学として、この地域での存在感を高めることを目標とする。

高等学校においては建学の精神に則り、堅実な女子育成を社会的使命と考え、学力のみならず新しい時代に対応できる教養、豊かな感性を身につけた「バランスのとれた現代女性」の育成を目標とする。

2 法人の沿革

- 明治35年 豊橋裁縫女学校設立
- 昭和6年 校名を豊橋高等裁縫女学校と改称
- 昭和10年 校名を豊橋高等家政女学校と改称
- 昭和21年 校名を豊橋藤花高等女学校と改称
- 昭和23年 学制改革により校名を藤ノ花女子高等学校と改称
- 昭和39年 藤ノ花女子高等学校 食物科開設
- 昭和58年 豊橋短期大学開学
- 平成8年 豊橋創造大学開学
豊橋短期大学を豊橋創造大学短期大学部に名称変更
- 平成10年 藤ノ花女子高等学校家政科を生活情報科に名称変更
- 平成12年 豊橋創造大学大学院 経営情報学研究科開設
- 平成14年 豊橋創造大学短期大学部 専攻科福祉専攻開設
創立100周年記念式典挙行
- 平成18年 豊橋創造大学 リハビリテーション学部 理学療法学科開設
豊橋創造大学 情報ビジネス学部 キャリアデザイン学科開設
- 平成21年 豊橋創造大学 リハビリテーション学部を保健医療学部に変更
豊橋創造大学 保健医療学部 看護学科開設
- 平成22年 豊橋創造大学大学院 健康科学研究科開設

3 設置する学校・学部・学科等

(1) 豊橋創造大学

- 大学院 経営情報学研究科 起業・経営情報専攻
- 大学院 健康科学研究科 健康科学専攻 (平成22年4月開設)
- 情報ビジネス学部 キャリアデザイン学科
- 保健医療学部 (平成21年度よりリハビリテーション学部から名称変更) 理学療法学科
- 保健医療学部 看護学科 (平成21年4月開設)
- 経営情報学部 経営情報学科、メディア・ネットワーク学科 (平成18年度より募集停止)

- (2) 豊橋創造大学短期大学部
 幼児教育・保育科
 キャリアプランニング科

専攻科 福祉専攻

- (3) 藤ノ花女子高等学校
 普通科、食物科、生活情報科

4 学部・学科等の定員、学生数の状況

(1) 豊橋創造大学

学部	学科〔専攻〕	入学定員	総定員	平成23.5.1現在
経営情報	経営情報	—	—	2
	メディア・ネットワーク	—	—	4
情報ビジネス	キャリアデザイン	76	380	249
保健医療	理学療法	60	240	240
	看護	80	240	251
小	計	216	860	746
大学院	起業・経営情報	15	30	14
	健康科学	6	12	13

(2) 豊橋創造大学短期大学部

学科〔専攻〕	入学定員	総定員	平成23.5.1現在	
幼児教育・保育科	100	200	207	
キャリアプランニング科	130	260	168	
小	計	230	460	375
専攻科・福祉専攻	10	10	8	

(3) 藤ノ花女子高等学校

学科	入学定員	総定員	平成23.5.1現在	
普通科	450	1350	338	
食物科	100	300	225	
生活情報科	100	300	511	
小	計	650	1,950	1,074

5 役員・教職員の人数（平成23年5月1日現在）

(1) 役員

理事 7人（うち、理事長1人）
 監事 2人
 評議員 17人

(2) 教 員

豊橋創造大学

	専 任						非常勤
	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計	
情報ビジネス学部	11	5	1	0	0	17	41
保健医療学部	19	5	12	4	9	49	
計	30	10	13	4	9	66	41

豊橋創造大学短期大学部

	専 任						非常勤
	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計	
幼児教育・保育科	7	3	1	1	0	12	31
キャリアプランニング科	5	3	1	0	0	9	
計	12	6	2	1	0	21	31

藤ノ花女子高等学校

	専 任					非常勤
	教 諭	助教諭	講 師	助 手	計	
全 日 制 課 程	45	0	0	0	45	29

(3) 職 員

豊橋創造大学

区 分	人 数
専 任	21
非 常 勤	9
計	30

豊橋創造大学短期大学部

区 分	人 数
専 任	10
非 常 勤	5
計	15

藤ノ花女子高等学校

区 分	人 数
専 任	14
非 常 勤	1
計	15

2 事業の概要

1 当期に行った主な事業の概況は、以下の通りである。

豊橋創造大学／豊橋創造大学短期大学部

※各学部学科の詳細な当期事業内容は後日発行・公表する「豊橋創造大学 自己評価報告書」ならびに「豊橋創造大学短期大学部 自己点検・評価報告書」の中に入れて記載する。

(1) 経営学部開設準備への取り組み

情報ビジネス学部のあり方について検討会を設け検討を進めた結果、同学部は平成24年度をもって募集停止し、生涯にわたっての高い就業能力を身につけさせるため、健全な職業観と就業意識を涵養し、経営学と情報学の専門知識とスキルを持つ専門的職業人の育成を行い、今まで以上に地域社会の人的資源を充足させることを主要な目的として、新たに「経営学部 経営学科」を設置することとなり、学内に「経営学部設置準備室」を発足させ、平成24年度の開設を目指して文科省への届出、関係施設の改修ほか設置のための諸準備に取り組んだ。届出は無事受理され、予定通り平成24年4月「経営学部 経営学科」が開設される運びとなった。

(2) 「大学教育・学生支援推進事業」「大学生の就業力育成支援事業」への取り組み

平成21年度に大学及び短期大学部が採択された文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」に引き続き取り組み、平成23年度は総合的学士力養成によって学生の就業力向上を達成するために、教育研究の充実に加えてインターンシップやチャレンジショップ、ビジネスプランコンテストなどの実践的教育やキャリア教育シンポジウム等の活動を行い、知識や経験に裏づけされた社会人基礎力としてコミュニケーション能力や意見形成力の養成に取り組んだ。

また平成22年度に大学及び短期大学部が採択された、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」における「持続型職業人SOZOプロジェクト～2年以内の早期離職防止を目指したメンタルタフネスとスキルの育成～」事業において本年度は、社会的・職業的自立につながる学生の就業力育成を目指し、「メンタルタフネスを活かすビジネス研究講座」、「プロジェクト演習」、「卒業生業界別交流会」等に取り組んだ。

(3) 地域貢献・地域連携への取り組み

保健医療学部では、理学療法学科において学生企画による市民公開講座「SOZO発健康生活～あなたの身体に潜むもの」、ならびに学科主催の公開講座「SOZOリハビリテーションフォーラム」を4講座、また「特定研修施設連携講座」を2講座実施した。また、看護学科においても公開講座「やってみよう、体験から学ぶ健康の知恵」を2講座実施し、地域の医療・福祉関係者や一般の方、保護者等に向けての情報発信、連携強化に取り組んだ。また、大学院健康科学研究科では、医療施設関係者等を対象とした「健康科学セミナー」を3回実施した。

大学院経営情報学研究科では、社会人向け寄附講座「SOZO起業塾（第3期）」を実施し、寄付企業4社、受講者・修了者12名の実績であった。

短期大学部においては教員免許更新制の導入を受け、本年度も幼稚園教諭免許状を有する現職教員等を主な対象者として教員免許状更新講習を実施した。多数の受講申し込みがあったため追加で開講した分も含めた全4講座を、のべ185名が受講した。またキャリアプランニング科では豊橋市との連携講座である市民大学トラム『「短大が目指す人材の「地産地消」』を5講座実施し、多くの市民が受講した。

(4) 学生による主体的活動の支援

創造性豊かな次世代の人材の育成の一環として、夢やアイデアに果敢に挑戦する学生の主体的活動支援を目的に「創造性を育む学生プロジェクト」を学生から公募し、本年度採択されたプロジェクトは、保健医療学部看護学科3年生の「QQ救命普及プロジェクト」、短期大学部

幼児教育・保育科2年生の「スマイル」の2企画で、大学からの助成金を活かし活動した。

また情報ビジネス学部においては、チャレンジショップ、ビジネスコンテスト等への学生の参加も引き続き支援を行い、はままつビジネスコンテストにおいて入賞の実績を得ることができた。また東三河ビジネスプランコンテストにおいては最終審査会に2名が参加した。

(5) F D活動の充実

合同F D委員会を中心に、授業評価アンケートの分析、学科単位でのF D懇話会、全体でのF D講習会、F Dフォーラムの開催等に取り組み、学生の現状と問題点、指導上の工夫とその成果・効果等について情報交換、意見交換を積極的に行った。

(6) 施設・設備の充実

本年度は経営学部開設に向けてのD棟改修工事の他、学生用駐輪場の増設、老朽化した空調設備の更新、図書館の照明設備の増設等を行い、学生にとってより快適に過ごせるキャンパス環境の形成・充実に取り組んだ。

藤ノ花女子高等学校

(1) 充実した進路指導の実践

進路意識の育成・希望進路実現のための「土曜講座の充実」や「地元事業所との連携強化」等、充実した進路指導を実践し、こうした取組みの結果と「堅実な女子育成を通して地元から信頼される人づくり」を目指す本校のマナー教育をはじめとした特色ある人材育成の成果が評価されて地元事業所の高い信頼を受け、世界同時不況以降全国的には依然として高校生にとって厳しい雇用環境の中、平成23年度も内定率100%の高い就職率を達成した。

進学指導面では希望者が急増してきた看護・医療系希望者への指導体制の充実や、姉妹校との連携強化にも取り組み、さらに基礎学力、文章力、面接ほか各種対策のための指導を行い、多方面の大学・短大・専門学校に多数の合格実績を出すことができた。

(2) 地域・社会への貢献

平成23年度参多難会のボランティア活動（善意フェスティバル、善意なべ募金、各種施設訪問活動等）参加者は延べ1,606名に上り、また文化部による中学校文化祭や地域の催しへの参加、運動部による各中学校へ出張しての実技指導や各協会からの依頼による指導など、地域・社会への貢献に努め、高い評価を得た。

(3) 施設・設備の充実

平成23年度は、東校舎およびグラウンドの駐輪場増設、教養棟及び北校舎外装・屋根等の改修工事、老朽化した器具倉庫の建て替え工事等を行った。

(4) 各種部活動・資格取得等実績

本校では教育活動の一環として、挨拶などのマナーの定着、継続力・忍耐力等の習得と人間力向上のため各種部活動の奨励を行っているが、平成23年度は日本拳法部、マーチングバンド部、バレーボール部、ソフトボール部、陸上部、コンピュータ部、書道・ペン習字部、演劇部等において県大会以上レベルでの活躍が目覚しかった。特に本年度は日本拳法部、マーチングバンド部が全国大会、バレーボール部が東海大会に出場し、優秀な成績を残すことができた。なお、これによりバレーボール部は24年4月の全国大会出場が決定した。

また即戦力となる実力の高い人材育成に取り組んだ成果として、本年度もワープロ、情報処理、電卓、漢字、書写、色彩等の各種検定試験において多数の合格者を出すことができた。

3 財務の概要

【 資金収支計算書 】

(1) 収入の部

・資金収支計算書[収入の部](平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

単位:円

部門 科目	学校法人	豊橋創造大学	豊橋創造大学 短期大学部	藤ノ花女子 高等学校	総 額
学生生徒等納付金収入	0	1,029,459,000	408,509,500	378,276,430	1,816,244,930
手数料収入	1,825,000	23,405,385	8,497,745	13,977,800	47,705,930
寄付金収入	0	1,049,160	0	391,000	1,440,160
補助金収入	0	249,389,400	84,910,440	414,528,270	748,828,110
資産運用収入	40,481,246	2,044,196	1,507,836	1,256,735	45,290,013
資産売却収入	15,104,959	0	0	0	15,104,959
事業収入	0	2,330,000	1,368,000	0	3,698,000
雑収入	0	50,952,014	22,768,707	26,621,040	100,341,761
借入金等収入	0	0	0	0	0
計	57,411,205	1,358,629,155	527,562,228	835,051,275	2,778,653,863
前受金収入					385,315,000
その他収入					1,562,288,753
資金収入調整勘定					△504,143,669
前年度繰越支払資金					1,928,050,875
収入の部合計					6,150,164,822

(2) 支出の部

・資金収支計算書[支出の部](平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

単位:円

部門 科目	学校法人	豊橋創造大学	豊橋創造大学 短期大学部	藤ノ花女子 高等学校	総 額
人件費支出	7,156,638	863,854,457	325,268,870	534,599,154	1,730,879,119
教育研究経費支出	0	270,352,626	117,281,531	97,303,115	484,937,272
管理経費支出	25,721,962	109,849,972	66,456,199	25,535,179	227,563,312
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	181,506,354	181,506,354
施設関係支出	0	81,310,131	57,617,839	56,300,000	195,227,970
設備関係支出	4,322,798	50,515,648	16,297,065	24,028,727	95,164,238
計	37,201,398	1,375,882,834	582,921,504	919,272,529	2,915,278,265
資産運用支出					1,387,185,450
その他の支出					83,457,048
資金支出調整勘定					△170,831,168
次年度繰越支払資金					1,935,075,227
支出の部合計					6,150,164,822

【 消費収支計算書 】

(1) 消費収入の部

・消費収支計算書[収入の部](平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

単位:円

科目 \ 部門	学校法人	豊橋創造大学	豊橋創造大学 短期大学部	藤ノ花女子 高等学校	総 額
学生生徒等納付金	0	1,029,459,000	408,509,500	378,276,430	1,816,244,930
手数料	1,825,000	23,405,385	8,497,745	13,977,800	47,705,930
寄付金	0	2,637,162	9,460	1,220,506	3,867,128
補助金	0	249,389,400	84,910,440	414,528,270	748,828,110
資産運用収入	40,481,246	2,044,196	1,507,836	1,256,735	45,290,013
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	0	2,330,000	1,368,000	0	3,698,000
雑収入	0	50,952,014	31,524,406	26,621,040	109,097,460
帰属収入合計	42,306,246	1,360,217,157	536,327,387	835,880,781	2,774,731,571
基本金組入額合計	△4,322,798	△138,165,768	△29,936,989	△76,653,584	△249,079,139
消費収入の部合計	37,983,448	1,222,051,389	506,390,398	759,227,197	2,525,652,432

(2) 消費支出の部

・消費収支計算書[支出の部](平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

単位:円

科目 \ 部門	学校法人	豊橋創造大学	豊橋創造大学 短期大学部	藤ノ花女子 高等学校	総 額
人件費	7,156,638	880,651,286	325,268,870	537,902,936	1,750,979,730
教育研究経費	0	430,911,516	176,328,729	181,576,740	788,816,985
管理経費	27,511,179	114,606,179	70,601,443	30,286,813	243,005,614
借入金等利息	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	161,801	0	1,000	162,801
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	34,667,817	1,426,330,782	572,199,042	749,767,489	2,782,965,130
当年度消費支出超過額					257,312,698
前年度繰越消費支出超過額					905,348,707
翌年度繰越消費支出超過額					1,162,661,405

【 貸借対照表 】

貸借対照表(平成 24 年 3 月 31 日)

単位:円

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	15,079,806,686	固定負債	830,693,267
有形固定資産	8,705,973,282	流動負債	758,614,222
		負債の部計	1,589,307,489
その他の固定資産	6,373,833,404	基本金の部	
		基本金の部計	16,852,295,032
流動資産	2,199,134,430	消費収支差額の部	
		消費収支差額の部計	△1,162,661,405
合 計	17,278,941,116	合 計	17,278,941,116

【 財務比率表 】

分類	区 分		23年度	22年度	21年度	20年度
	比率	算式(×100)				
消費 収支 計算書	人件費比率	人件費／帰属収入	63.1%	62.5%	68.5%	64.2%
	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	96.4%	96.6%	111.9%	108.6%
	教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	28.4%	31.5%	33.0%	33.2%
	管理経費比率	管理経費／帰属収入	8.8%	8.2%	10.5%	11.7%
	借入金等利息比率	借入金等利息／帰属収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	消費支出比率	消費支出／帰属収入	100.3%	102.3%	112.0%	109.0%
	消費収支比率	消費支出／消費収入	110.2%	114.7%	120.3%	114.0%
	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／帰属収入	65.5%	64.7%	61.2%	59.1%
	寄付金比率	寄付金／帰属収入	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%
	補助金比率	補助金／帰属収入	27.0%	28.2%	28.1%	28.5%
	基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	9.0%	10.8%	6.9%	4.4%
	減価償却費比率	減価償却額／消費支出	11.5%	11.6%	10.4%	10.7%

区		分	23年度	22年度	21年度	20年度
分類	比率	算式(×100)				
貸借対照表	固定資産構成比率	固定資産／総資産	87.3%	87.8%	82.2%	81.2%
	流動資産構成比率	流動資産／総資産	12.7%	12.2%	17.8%	18.8%
	固定負債構成比率	固定負債／総資金	4.8%	5.9%	6.8%	6.9%
	流動負債構成比率	流動負債／総資金	4.4%	3.9%	4.4%	3.7%
	自己資金構成比率	自己資金／総資金	90.8%	90.3%	88.7%	89.3%
	消費収支差額構成比率	消費収支差額／総資金	-6.7%	-5.2%	-3.2%	-0.5%
	固定比率	固定資産／自己資金	96.1%	97.2%	92.6%	90.9%
	固定長期適合率	固定資産／自己資金＋固定負債	91.3%	91.3%	86.0%	84.4%
	流動比率	流動資産／流動負債	289.9%	315.4%	400.3%	503.3%
	総負債比率	総負債／総資産	9.2%	9.7%	11.3%	10.7%
	負債比率	総負債／自己資金	10.1%	10.8%	12.7%	11.9%
	前受金保有率	現金預金／前受金	502.2%	462.2%	510.1%	607.9%
	退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金(資産)／退職給与引当金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【概況説明】

23年度の収支状況等を分析してみると、大学において21年度に開設された看護学科が本年度は3年目となって学生数が増加したことにより、前年度に比して学生納付金収入が増加した。支出面では大学経営学部設置準備のためのD棟の改築、老朽化した空調設備の更新、高等学校の校舎改修等、施設・設備関係支出の増加が発生したが、種々の経費節減努力により諸経費を減少させることができた。その結果、単年度として見ると高等学校部門以外は昨年度に引き続き支出超過の状況ではあるが、超過額は抑制傾向にあり、今後も学園全体で学生募集を順調に進めるとともに、より一層の経費節減努力等も引き続き行うことで、大学看護学科の完成年度となる次年度は学生納付金収入もさらに増加するため、収支比率はより好転していく見通しである。

また貸借対照表分析からは負債比率が極めて低く、自己資金率が高いことが読み取れ、例年に引き続き全体としては健全な財政状態であることがわかる。

4 今後の課題

近年の学園を取り巻く環境の急速な変化に対応するため、個性輝く大学・高等学校として社会に一層認知される学校づくりに一丸となって取り組むことが急務である。そのために、大学・短大においては既設学部・学科における教育内容と出口の質を公的保証し、学内外に公表できる方策の検討と、地域貢献に引き続き取り組まなくてはならない。そして24年度開設の経営学部による教育の新展開も是が非でも成功させなければならない。高等学校においても地元の厳しい経済環境の中、東三河地区で唯一の女子校としての特色・個性により一層の磨きをかけ、継続的に社会に優秀な人材を送り出すべく努力していく必要がある。

また、自己点検・自己評価活動をより一層きめ細かく行い、学園の社会的認知度とブランドイメージの更なる向上を目指し、諸改革を進めていく必要がある。